

2022/7/8

(オマケの英語教室 fashionable) 書庫版



本日、我が国の元首相が銃撃され重篤な状態になったという衝撃的な事件があり、そんな中で

「多くのわが国民が英語をしゃべれるようにならないか？」という志だけは高いものの実際にやっている事と言ったら「英語と日本語に関する与太話」ばかりの我が身の諸活動を顧みて

「何か、こんなことやって意味があるのだろうか？」

と「重篤な無力感」に襲われ、正直筆をおこうかと思っていたその瞬間に全く予期しない留守電が一本。

中学時代の友達からでした。

「カレー食べに行きました」

と。

それで折り返しすぐに電話すると

「今度、有志で行こうと話しているんです。いろいろやっているみたいなんで」

と。

非常に驚くと同時に目がウルウルになってしまいました。

前置きが長くなりましたが、気を取り直して今日も。

日本語でファッショナブルというと

ハイセンスとか粋でカッコいいとか華やかだとかいい意味で使われることが多いのですが、外国人との話の中で使われる、この fashionable という言葉はどちらかというとあまりいい意味で使われるシーンに遭遇した記憶がありません。

例えば

She always shows up fashionably late

(彼女、いつも平気な顔してわざと遅れてくるのよ)

といったようなシーンで使われるのを何回か聞きました。

もっと fashionably の語幹 fashion に重きを置いて意識すると

(彼女、遅れてくるのが一種のファッション (華やかさを伴った期待感の醸成) だと思ってわざと遅れてくるのよ)

でしょうか。

要するに fashion の中には「作っている」「図っている」「作り事」「図り事」「計算高い」といったような意味合いが含まれている気がしております。

ですので、外国人さんから

You are little bit too much fashionable

と言われたら

Your costume is very fashionable

(君の服ファッションナブル (華やか) だねえ)

と言われた時の感覚をそのまま当てはめるような有頂天には一概にならないほうが良いような気がします。

ひとつ前、先述の文章を訳せば

(君少しばかりファッション (作り事) し過ぎだよ)

とも訳せますから。

追記)

この場合の fashionable=fashion + able は「ファッションできる」ではなく「fashion し勝ちな」をベースにした訳の方が妥当かもしれません。